


No. 27 一日の生活に見通しをもち、状況を捉えて行動する。
 No. 30 自分の思い通りにならない状況があることが分かり、自分はどうしたらよいか考え気持ちを調整しようとする。…考える子ども…

あと少し遊べる 楽しい遊びに区切りをつけて片付ける 10月

☆ 視点に関わる背景 ☆

保育者間で、年長に進級した子どもたちが一日の生活に見通しをもち、自分たちで主体的に過ごそうとするための環境の工夫や教師の援助の工夫を検討し、そのような保育の展開に努めてきた。子どもたちが創り出す遊ぶ場の数か所に時計を設置したり、保育室には一日のスケジュールを書き込めるボードを用意したりし、子どもたちの様子を継続的に見守っていくことで、様々な成長の姿を捉えることができた。

☆ 接続期の状況 ☆

子どもの姿・子ども同士のかかわり	保育者の援助・視点
<p>朝登園すると、スケジュールボードの前に友だち数人が集まり、「今日は〇〇組さんとリレー対決だったね。」「その後缶けり!」「楽しみ〜!」と言い、それぞれの遊びを始める。</p> <p>(花や木の実等でご馳走作りをしている子ども達。)</p> <p>「3(15分)になったら片付けよっか。」「うん、昨日、4(20分)に片付けたら間に合わなかったもんね。」「うん、だから…あと少し遊べる!」「ええ〜もっと遊びたい〜」</p> <p>「そうだ!〇〇ちゃんの誕生日が近いから、パーティで乾杯しない?」「いいね。そうしよう!」「みんな!集まって!」</p> <p>仲間に声をかけ、乾杯し、ご馳走を食べた後、「あ!3になった!」と、自分たちで急いで片付け始める。</p>	<p>○前日、子どもたちと相談しながら、ボードに翌日のスケジュールを書き込む。ボードの横には時間を示した時計の絵も掲示する。</p> <div data-bbox="863 943 1406 1050" style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>○かつ○にち(○ようび) 10じ30ぶん〜「クラスたいこうリレー」 11じ〜「かんけり」 11じ30ぶん〜 おべんとう</p> </div> <div data-bbox="948 1066 1315 1346" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  </div> <p>○「こんな素晴らしい遊びで片付けるの、もったいない!」と受け止め、気持ちを切り替えるきっかけを作る。</p> <p>○「パーティすることにしたの?素敵!」</p> <p>○自分たちで声をかけ、片付け始めた姿を感心しながら見守る。</p>

☆ 接続期の指導場面における配慮事項 ☆

「片付けをしよう」という保育者の指示がなくても、自分たちで時計を見てリレーの始まる時間が近づいてきていることに気づき、仲間同士声を掛け合い、片付け始める姿を感心しながら見守った。

朝登園すると、ボードを見て1日のスケジュールをつかみ、見通しをもった生活をしていることが分かる。○時まで遊ぶと、その次にはみんなで楽しいことができることが分かって行動を起こしている。自分のやりたい遊びを十分に自己発揮して遊び、もっと続けたいけれど次の遊びを楽しむためには『気持ちを切り替えること』や『折り合いをつけること』が大事である経験を仲間と積み重ねて生活している。時計を見ながら「あと少し遊べる。」とだいたいの時間の感覚が分かり、生活の中に取り入れていることも分かる。

この時期、自分たちで気づいて行動を起こしたことに価値をおいて認め、張り切っている気持ちをさらにくすぐるような言葉をかけていくことが、自分たちの生活を自分たちで創り出していくとする心の育ちにつながっていくのではないかと。発達に合わせて保育者の立つ位置やかかわり方を工夫していくことが大切である。